

## 大臣折衝事項

令和 8 年度環境省予算について、国家戦略である循環経済の実現に向け、以下のとおり重点的な予算措置を行うこと。

- ・ 循環経済への移行加速化に向け、レアメタル・レアアースをはじめとした金属資源等の国内外の資源循環を促進するため、「経済安全保障の確保に貢献する金属資源等の再資源化に対する投資促進支援」に必要な経費として、令和 7 年度補正予算で措置された 31 億円に加え、令和 8 年度予算において総額 379 億円を措置すること。

# 経済安全保障の確保に貢献する金属資源等の再資源化に対する投資促進支援①



単位：億円

	R6補正	R7当初	計
エネ特会	17	83	100
GX	-	150	150
一般	-	-	-
合計	17	233	250



	R7補正	R8当初	計
	31	119	150
	-	200	200
	-	60	60
	31	379	410

+ 160億円  
(1.6倍)

# 経済安全保障の確保に貢献する金属資源等の再資源化に対する投資促進支援②



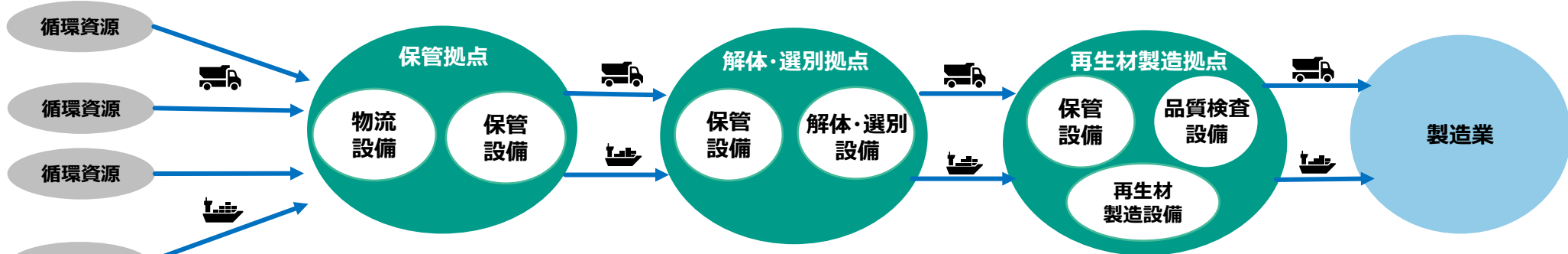
**令和 8 年度予算案額：379億円**（内訳 エネルギー対策特別会計：319億円、一般会計：60億円）  
令和 7 年度補正予算額：31億円、 令和 7 年度当初予算額：233億円

■背景：我が国製造業はサプライチェーン途絶リスクにさらされており、国内外での循環資源の回収拡大と再資源化を通じた製造業への供給強化（動静脈連携）による再生材供給サプライチェーンの強靱化は、経済安全保障に直結。そのため、サプライチェーンの各機能を全国で強化していく必要がある。

■事業のイメージ：資源循環産業から製造業に安定的な質・量の再生材（レアメタル・レアアースをはじめとした重要な金属資源等）を供給するためのサプライチェーン上の各種拠点（保管、解体・選別、再生材製造等）に係る設備の集約化・高度化を行うための関連インフラ導入や実証事業の支援を行う。

＜国内外からの収集＞  
レアメタル・レアアース等  
を含む循環資源 ※米国・欧州・ASEAN等  
からも収集を強化

## 再生材供給サプライチェーン強靱化のイメージ



電子スクラップ



廃電池



荷揚げ設備



保管設備



解体装置



大型破砕機



再生材製造設備



品質検査設備

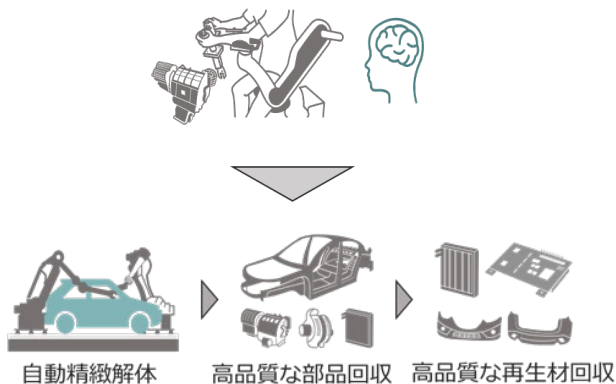


## (事例1) 使用済自動車の自動解体

【ベースメタル・レアメタル・レアアース(ネオジム)・プラスチックの回収】

解体・選別

精密な作業を実現する技術 AI活用



金属資源等の効率的な選別のため、ロボットによる自動車の精緻解体装置を自動車解体現場へ実装する事業

## (事例2) 廃LEDからのガリウム回収

解体・選別



廃LED



ガリウム素子の回収

ガリウム化合物を含む素子の単体分離・濃縮とガリウムの濃縮技術の開発に係る実証事業

## (事例3) 電子スクラップからの再生金属製造施設

再生材製造



電子スクラップ



再生金属 (金)

電子スクラップから、異物を高効率的に除去することで、再生金属 (金・銀・銅・レアメタル (パラジウム等)) を製造する事業

## (事例4) 廃触媒からのレアメタル合金 (プラチナ・パラジウム・ロジウム) 製造施設

再生材製造



自動車廃触媒



レアメタル合金

自動車の廃触媒を粉砕・製錬し、レアメタル合金を製造する事業